

2021年度 第2四半期 決算説明会

2021年11月8日

ブラザー工業株式会社

常務執行役員財務担当 伊藤 敏宏

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2021年度 第2四半期（7月-9月）実績

**為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業が好調に推移し、売上は増収
事業セグメント利益は、第2四半期としては、過去最高水準**

◆ 売上収益 **1,765億円/ +12.5%（前年比）**

- ✓ P&S事業は、供給制約があるものの、在宅勤務向けの製品本体への需要の強さ、消耗品の堅調な推移に為替のプラス影響も加わり増収
- ✓ マシナリー事業は、主に中国向けの産業機器の好調な推移、工業用マシンでのアパレル向け設備投資需要の回復などにより大幅増収

◆ 事業セグメント利益 **232億円/ ▲0.6%（前年比）**

- ✓ マシナリー事業・P&S事業における粗利増や為替のプラス効果があったものの、物流コストや部材コストアップにより前年度並みの水準となる

2021年度 通期業績予想

**為替のプラス影響に加え、主に第2四半期における
P&S事業の利益の上振れを反映し、各段階利益の見通しを上方修正**

2021年度 第2四半期（7月-9月）業績

為替のプラス影響に加え、主にマシナリー事業が好調に推移し、売上は増収
事業セグメント利益は、第2四半期としては、過去最高水準

単位：億円

	20Q2	21Q2	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,569	1,765	196	12.5% (+7.3%)
事業セグメント利益	234	232	-1	-0.6%
事業セグメント利益率	14.9%	13.2%		
その他の収益・費用	-1	15	16	
営業利益	233	247	15	6.3%
営業利益率	14.8%	14.0%		
税引前利益	232	248	17	7.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	181	182	1	0.6%
USD	105.88	110.47		
EUR	123.71	130.31		

2021年度第2四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

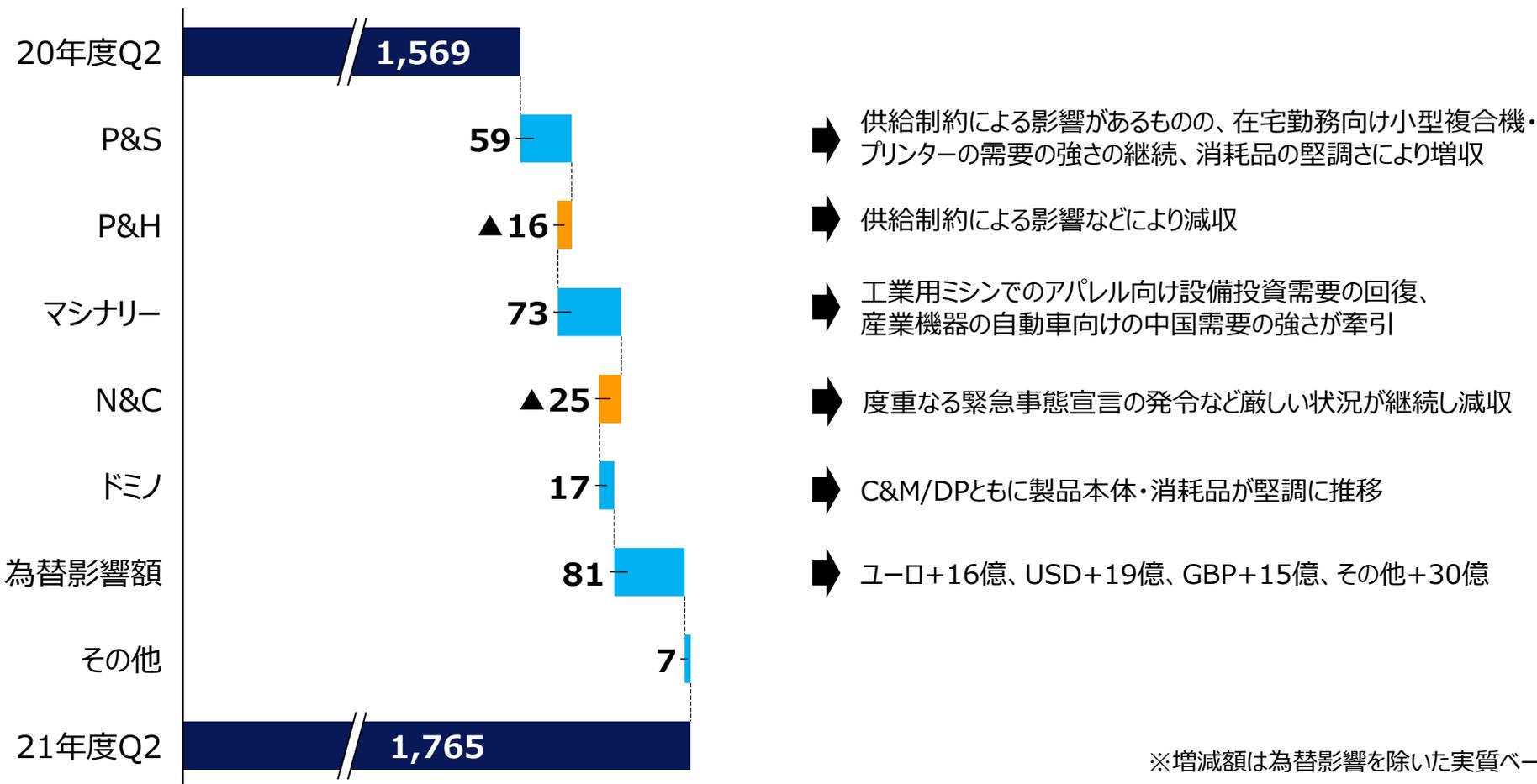
		20Q2	21Q2	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	950	1,061	111
	事業セグメント利益	189	159	-30
	営業利益	186	164	-22
パーソナル&ホーム	売上収益	144	134	-10
	事業セグメント利益	27	26	-1
	営業利益	26	28	2
マシナリー	売上収益	189	271	82
	事業セグメント利益	8	36	28
	営業利益	9	37	28
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	88	64	-25
	事業セグメント利益	-4	-12	-8
	営業利益	0	-5	-6
ドミノ	売上収益	173	204	31
	事業セグメント利益	16	22	6
	営業利益	12	22	10
その他	売上収益	24	31	7
	事業セグメント利益	-2	1	3
	営業利益	-1	3	4
合計	売上収益	1,569	1,765	196
	事業セグメント利益	234	232	-1
	営業利益	233	247	15

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2021年度第2四半期 売上収益の増減要因

マシナリー事業・P&S事業が堅調に推移
為替のプラス影響も加わり、増収となる

単位：億円

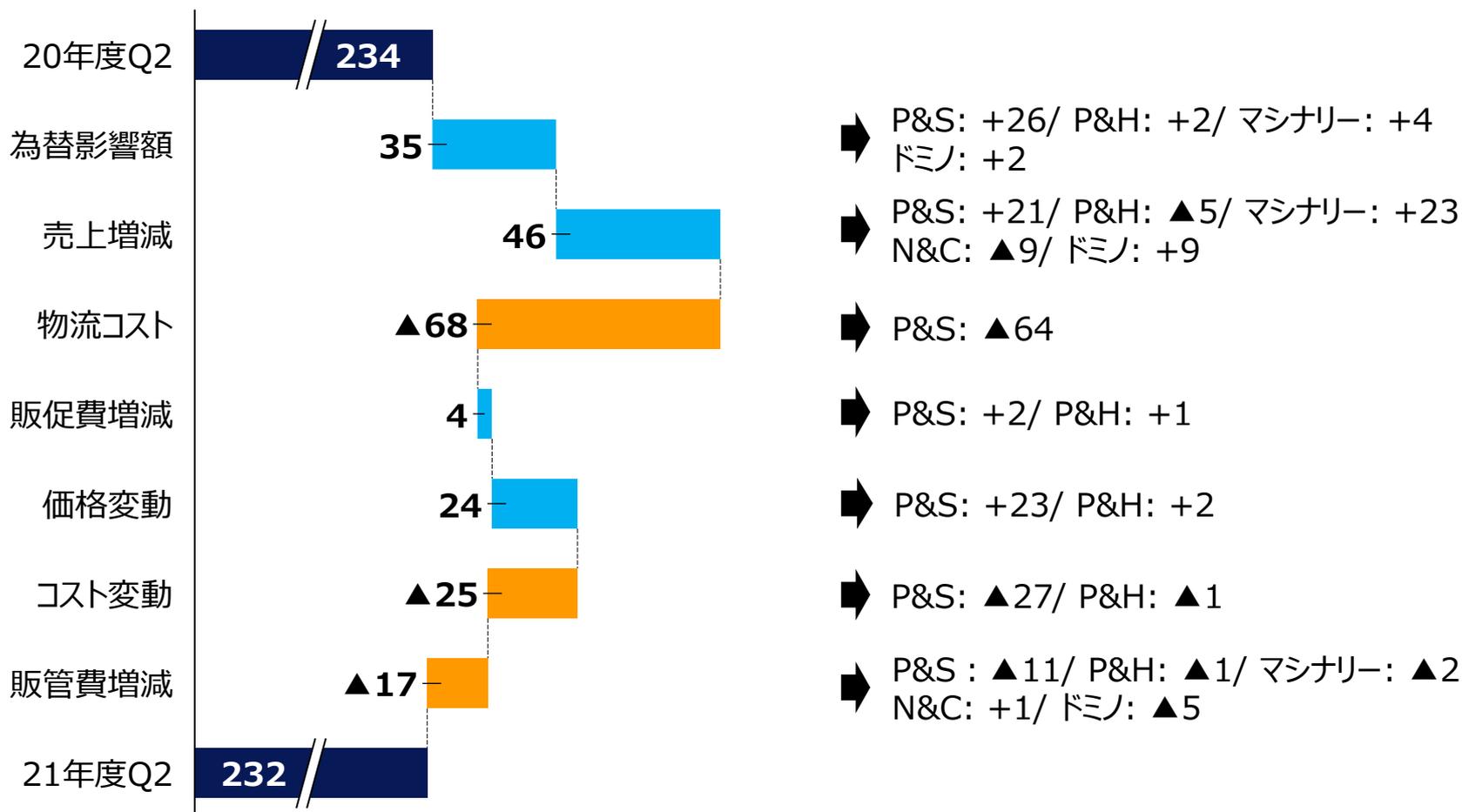


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2021年度第2四半期 事業セグメント利益の増減要因

マシナリー事業・P&S事業における粗利増や為替のプラス効果があったものの、
物流コストや部材コストアップにより前年度並みの水準となる

単位：億円



2021年度 上期（4月-9月）累計業績

コロナ影響を大きく受けた前年から業績は改善し、
売上収益・各段階利益は、第2四半期累計期間で過去最高（IFRS移行後）

単位：億円

	20年度上期	21年度上期	増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	2,901	3,505	605	20.8% (+14.4%)
事業セグメント利益	320	494	174	54.4%
事業セグメント利益率	11.0%	14.1%		
その他の収益・費用	5	18	12	
営業利益	325	512	187	57.4%
営業利益率	11.2%	14.6%		
税引前利益	326	516	189	58.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	247	368	121	49.1%
USD	106.68	110.18		
EUR	121.36	130.97		

2021年度上期累計 事業セグメント別実績

単位：億円

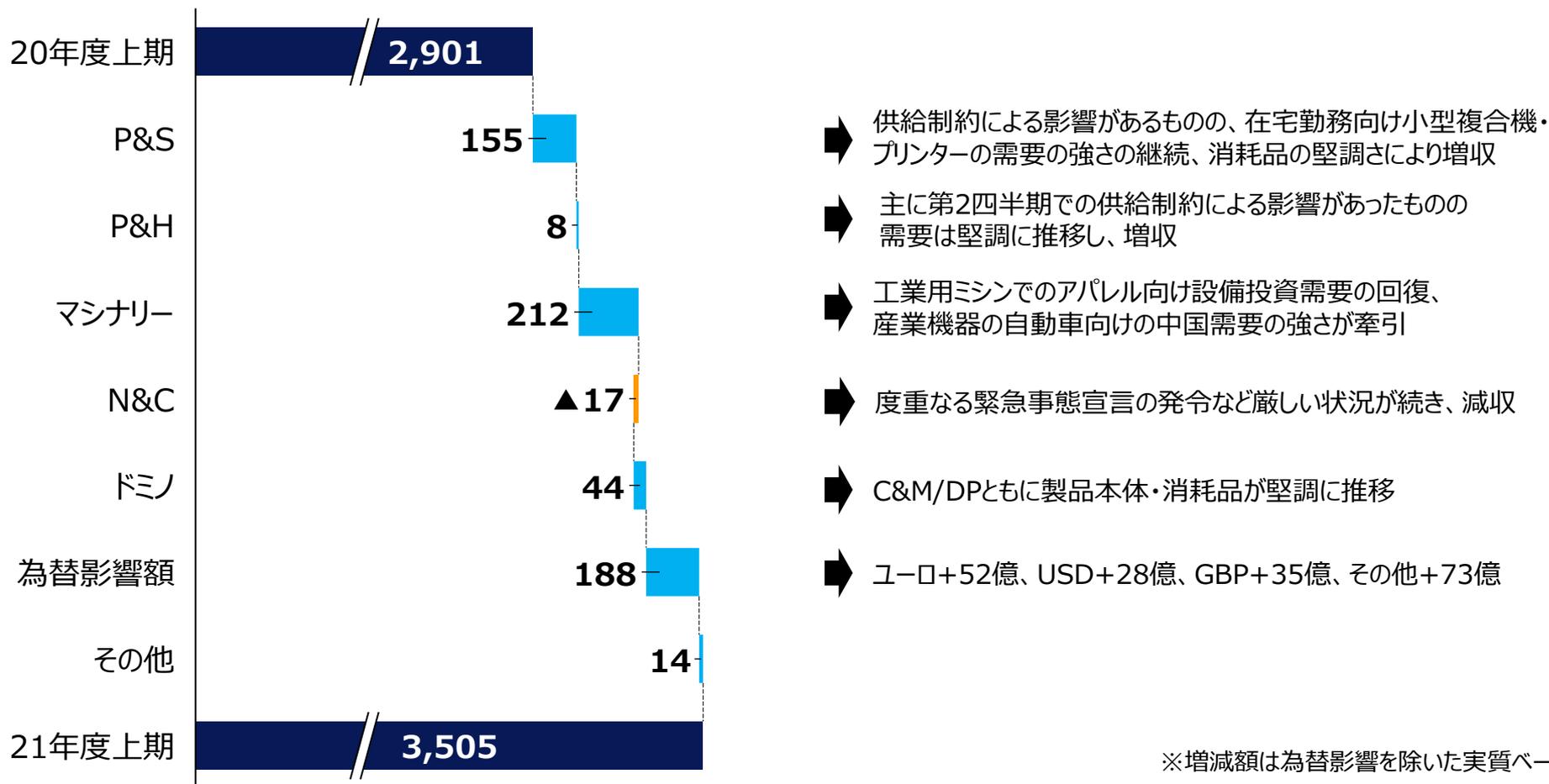
		20年度上期	21年度上期	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	1,779	2,052	272
	事業セグメント利益	283	323	40
	営業利益	287	327	40
パーソナル&ホーム	売上収益	252	275	23
	事業セグメント利益	41	58	17
	営業利益	40	58	18
マシナリー	売上収益	340	575	236
	事業セグメント利益	7	88	81
	営業利益	5	88	83
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	150	133	-17
	事業セグメント利益	-27	-20	7
	営業利益	-22	-9	14
ドミノ	売上収益	327	403	77
	事業セグメント利益	20	43	23
	営業利益	14	43	28
その他	売上収益	52	66	14
	事業セグメント利益	-2	3	5
	営業利益	2	5	3
合計	売上収益	2,901	3,505	605
	事業セグメント利益	320	494	174
	営業利益	325	512	187

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2021年度上期累計 売上収益の増減要因

コロナ影響を大きく受けた前年から売上は回復し、堅調に推移
為替のプラス影響も加わり、大幅な増収となる

単位：億円

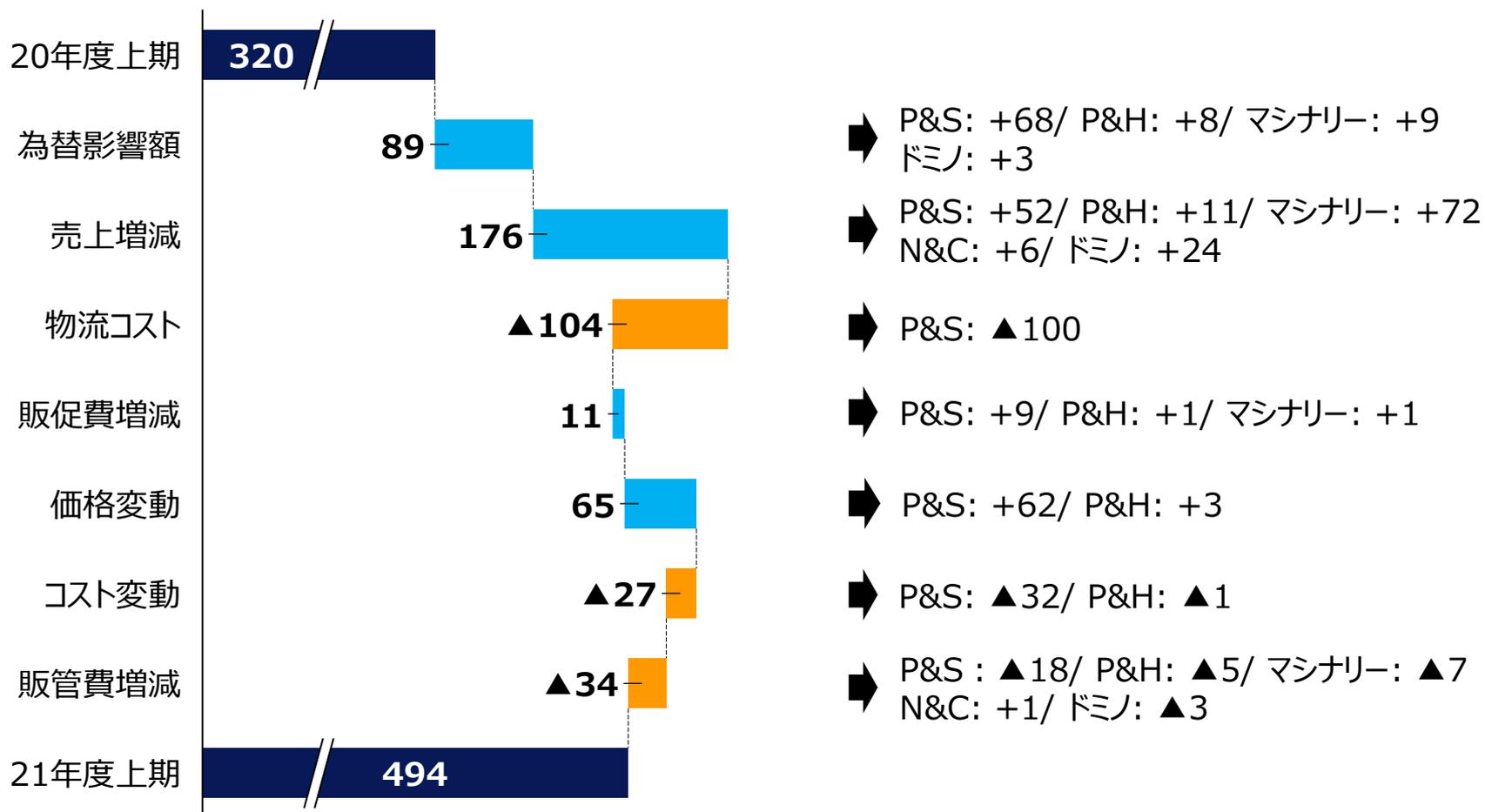


※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2021年度上期累計 事業セグメント利益の増減要因

マシナリー事業・P&S事業における粗利増やP&S事業の平均単価の上昇に
為替のプラス効果も加わり、大幅な増益となる

単位：億円



2021年度 通期業績予想

為替のプラス影響に加え、主に第2四半期におけるP&S事業の利益の上振れを反映し、各段階利益の見通しを上方修正

単位：億円

	前回予想	21年度 今回予想	増減	増減率	20年度		増減率 ()は為替影響 除く増減率
					実績	増減	
売上収益	6,950	6,950	0	0.0%	6,318	632	10.0% (+6.5%)
事業セグメント利益	680	780	100	14.7%	781	-1	-0.1%
事業セグメント利益率	9.8%	11.2%			12.4%		
その他の収益・費用	-5	0	5		-353	353	
営業利益	675	780	105	15.6%	427	353	82.5%
営業利益率	9.7%	11.2%			6.8%		
税引前利益	675	780	105	15.6%	429	351	81.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	460	530	70	15.2%	245	285	116.1%
USD	108.81	109.48			106.17		
EUR	127.59	128.59			123.73		

2021年度通期 事業セグメント別予想

単位：億円

		前回予想	21年度予想	増減	20年度実績	21年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	4,110	4,169	59	3,848	4,169	321
	事業セグメント利益	471	554	83	652	554	-98
	営業利益	489	564	75	610	564	-46
パーソナル&ホーム	売上収益	509	487	-22	537	487	-50
	事業セグメント利益	62	75	13	98	75	-23
	営業利益	64	76	12	96	76	-20
マシナリー	売上収益	1,064	1,073	9	789	1,073	284
	事業セグメント利益	115	119	4	41	119	78
	営業利益	115	118	3	33	118	85
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	335	313	-22	310	313	3
	事業セグメント利益	-17	-26	-9	-52	-26	26
	営業利益	-2	-2	0	-73	-2	71
ドミノ	売上収益	767	780	13	698	780	82
	事業セグメント利益	47	62	15	48	62	14
	営業利益	43	61	18	-239	61	300
その他	売上収益	165	128	-37	136	128	-8
	事業セグメント利益	2	-4	-6	-5	-4	1
	営業利益	-34	-37	-3	2	-37	-39
合計	売上収益	6,950	6,950	0	6,318	6,950	632
	事業セグメント利益	680	780	100	781	780	-1
	営業利益	675	780	105	427	780	353

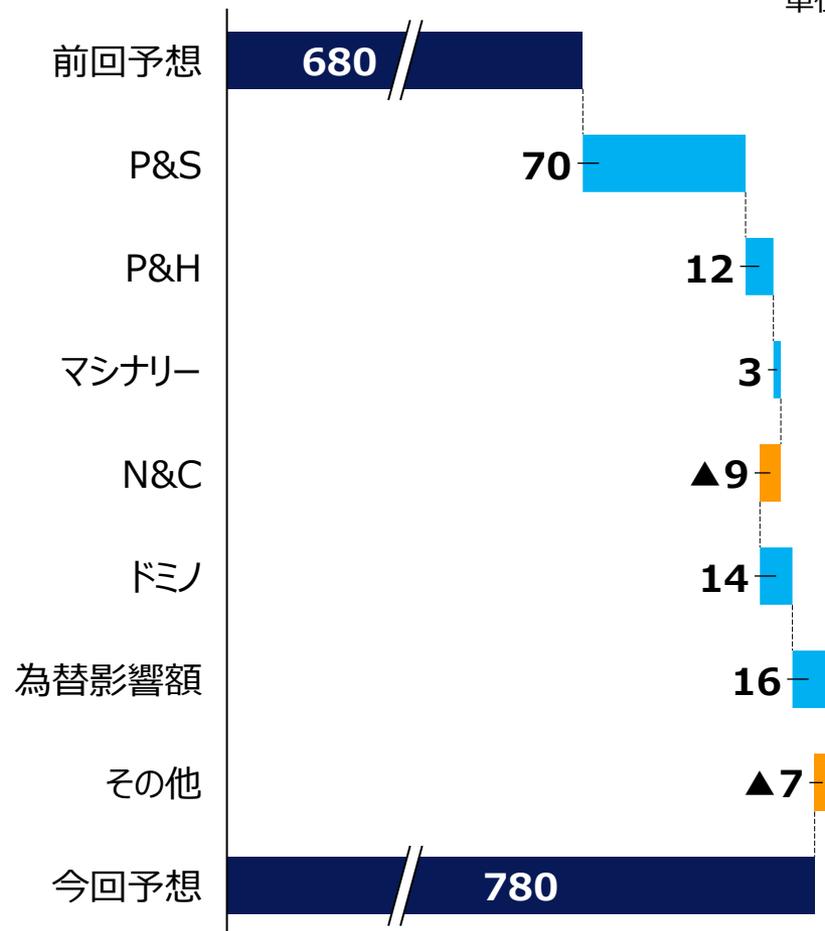
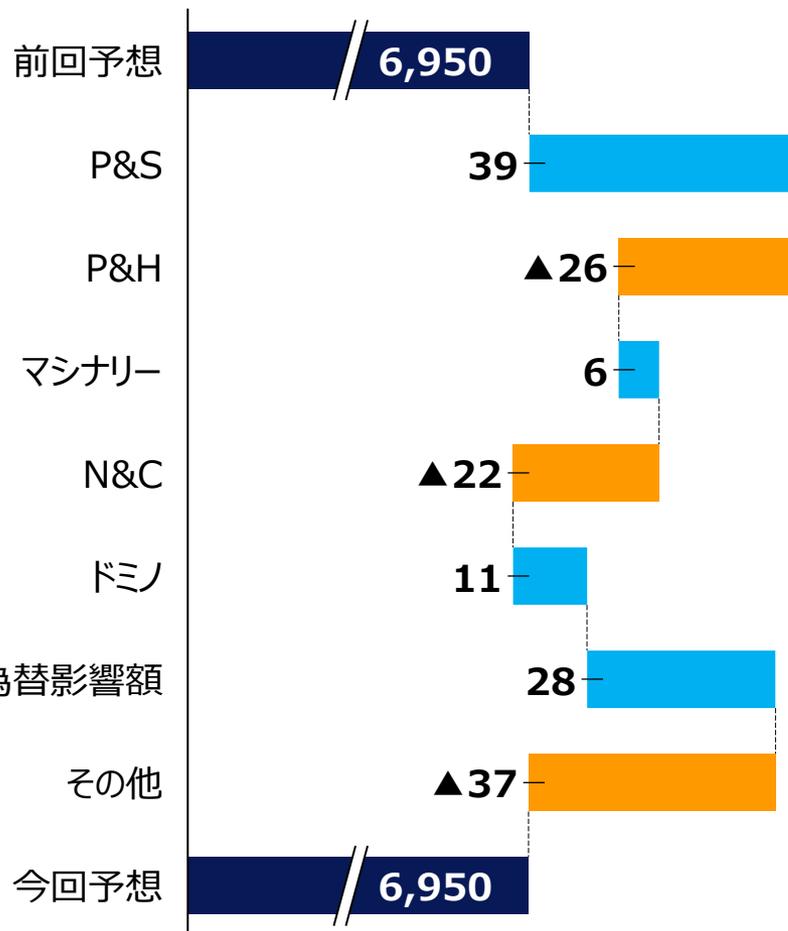
※セグメント間取引消去額は含めておりません。

2021年度通期 売上収益/事業セグメント利益の増減

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

単位：億円

	20年度末	21年度 Q2末	増減
流動資産	4,288	4,416	129
現預金	1,910	1,734	-176
棚卸資産	1,202	1,406	205
非流動資産	3,151	3,163	11
負債合計	2,442	2,290	-152
有利子負債	575	387	-187
株主資本	4,831	5,120	289
総資産	7,439	7,579	140

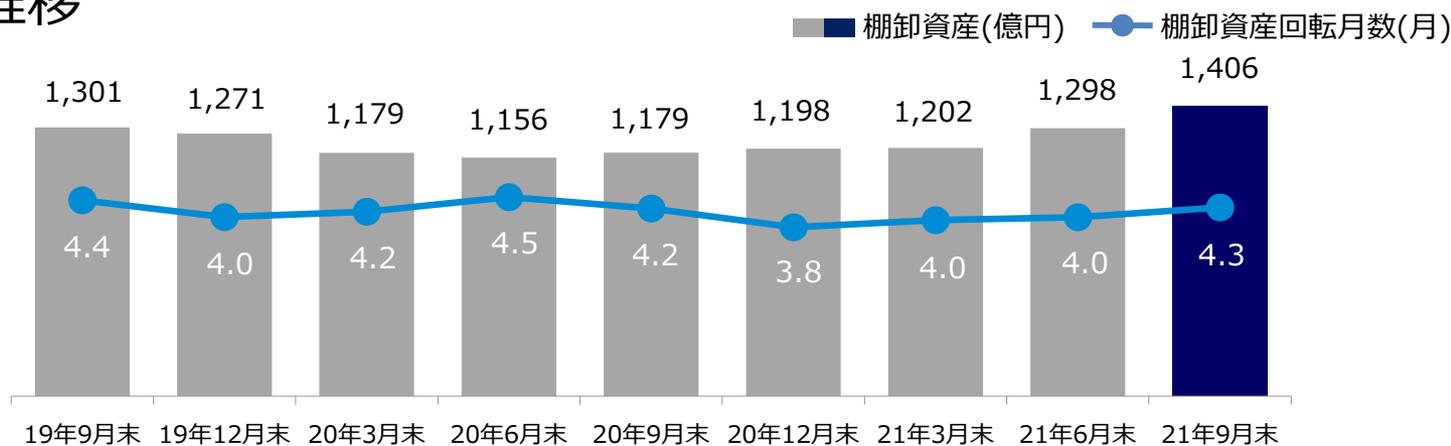
ネット・キャッシュ

20年度末 : +1,335億円
21年度Q2末 : +1,346億円

株主資本比率

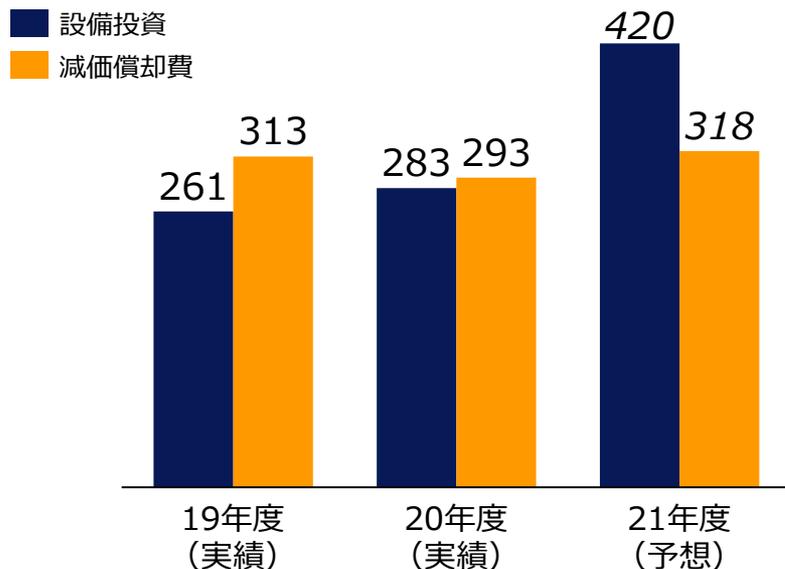
20年度末 : 64.9%
21年度Q2末 : 67.6%

棚卸資産推移

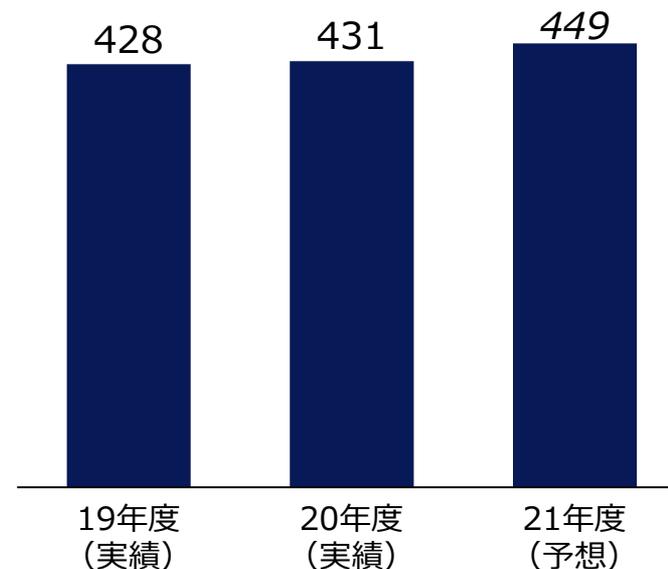


※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

設備投資・減価償却費



研究開発費



事業別設備投資内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	109	135	199
P&H	5	10	14
マシナリー	24	30	52
N&C	49	19	28
ドミノ	21	21	34
その他	52	67	93
計	261	283	420

事業別研究開発費内訳

	19年度	20年度	21年度
P&S	277	283	277
P&H	22	20	24
マシナリー	54	51	61
N&C	9	9	11
ドミノ	38	40	44
その他	29	28	33
計	428	431	449

セグメント業績概要

プリンティング&ソリューションズ事業

地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

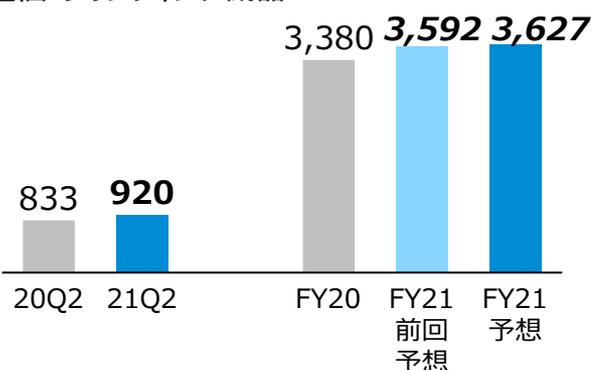
	20Q2	21Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	950	1,061	11.6%	6.2%
通信・プリンティング機器	833	920	10.3%	5.0%
米州	298	331	11.1%	5.6%
欧州	272	290	6.5%	1.1%
アジア他	163	189	15.7%	7.4%
日本	100	110	9.9%	9.9%
電子文具	117	141	20.9%	14.9%
米州	50	68	36.4%	29.9%
欧州	36	39	7.2%	1.6%
アジア他	17	22	28.4%	18.1%
日本	13	12	-9.5%	-9.5%

	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	3,848	4,110	4,169	8.4%	4.5%
通信・プリンティング機器	3,380	3,592	3,627	7.3%	3.6%
米州	1,214	1,251	1,275	5.1%	1.2%
欧州	1,133	1,147	1,148	1.3%	-2.5%
アジア他	622	670	679	9.2%	3.3%
日本	410	524	524	27.7%	27.7%
電子文具	468	518	542	15.8%	11.4%
米州	204	225	244	19.3%	15.0%
欧州	142	161	167	17.7%	13.1%
アジア他	70	82	84	19.8%	12.2%
日本	52	50	48	-8.2%	-8.2%

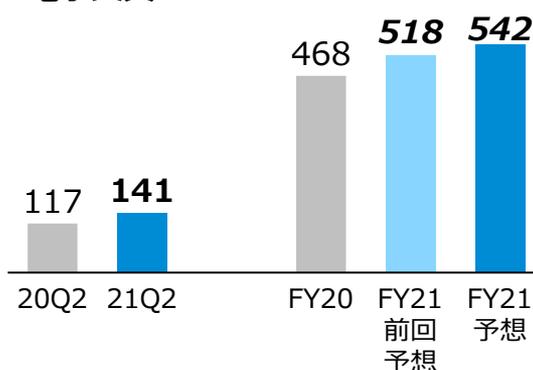
事業セグメント利益	189	159	-16.0%	-
営業利益	186	164	-12.1%	-

事業セグメント利益	652	471	554	-15.0%	-
営業利益	610	489	564	-7.5%	-

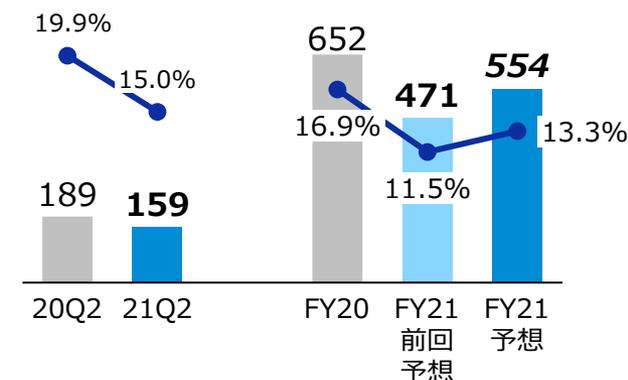
＜売上収益＞
通信・プリンティング機器



電子文具



＜事業セグメント利益＞ ● 利益率



プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

brother
at your side

19Q1 19Q2 19Q3 19Q4 20Q1 20Q2 20Q3 20Q4 21Q1 21Q2 21Q3 21Q4 19通期 20通期 21通期
予想

LBP

	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4	20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	19通期	20通期	21通期 予想
売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-9%	-8%	-7%	-2%	6%	19%	18%	18%	-10%	-4%	-	-	-7%	15%	-3%
消耗品	2%	-6%	-2%	-3%	-18%	1%	0%	-1%	21%	15%	-	-	-2%	-5%	9%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	-6%	-4%	-3%	2%	11%	22%	21%	18%	-16%	-9%	-	-	-3%	18%	-6%
消耗品	4%	-1%	3%	0%	-15%	2%	2%	-3%	12%	9%	-	-	1%	-4%	5%

IJP

売上伸び率（円ベース/前年比）															
本体	-2%	8%	-7%	-3%	-37%	-49%	-12%	-3%	90%	95%	-	-	-1%	-25%	40%
消耗品	1%	-2%	-8%	4%	-23%	-1%	9%	-6%	11%	-6%	-	-	-2%	-5%	-5%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）															
本体	1%	13%	-4%	0%	-33%	-48%	-9%	-3%	79%	87%	-	-	2%	-23%	36%
消耗品	3%	3%	-5%	7%	-20%	-1%	10%	-8%	5%	-10%	-	-	2%	-5%	-8%
消耗品比率															
	60%	58%	57%	59%	55%	57%	55%	56%	56%	57%	-	-	58%	55%	55%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）															
LBP	-13%	-4%	-2%	3%	12%	10%	6%	0%	-28%	-16%	-	-	-5%	7%	-
IJP	0%	13%	1%	7%	-39%	-57%	-24%	-25%	65%	101%	-	-	5%	-36%	-

単位：億円

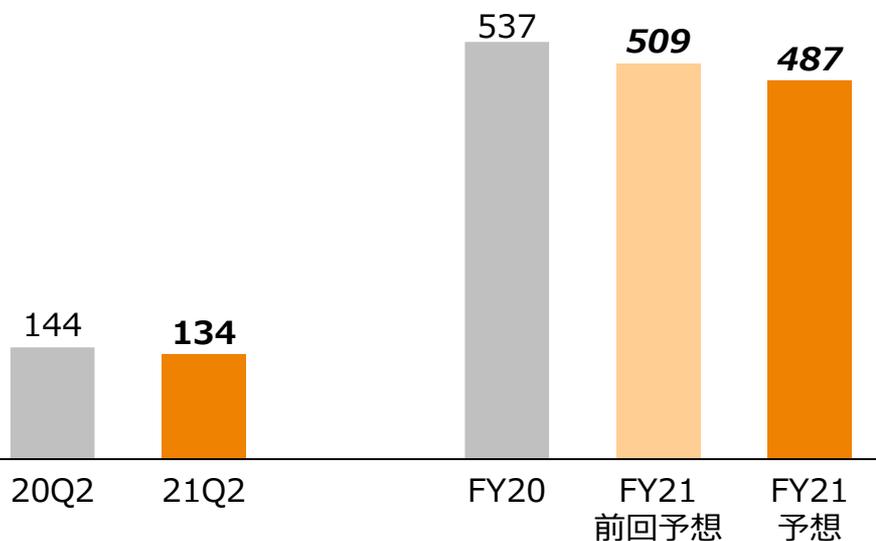
	20Q2	21Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	144	134	-6.7%	-10.9%
米州	74	79	7.4%	2.5%
欧州	42	36	-16.0%	-20.0%
アジア他	14	12	-10.0%	-15.3%
日本	14	7	-48.7%	-48.7%

	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	537	509	487	-9.3%	-12.7%
米州	273	271	265	-3.0%	-6.5%
欧州	160	146	139	-13.2%	-17.2%
アジア他	56	56	49	-11.6%	-15.8%
日本	48	37	34	-29.7%	-29.7%

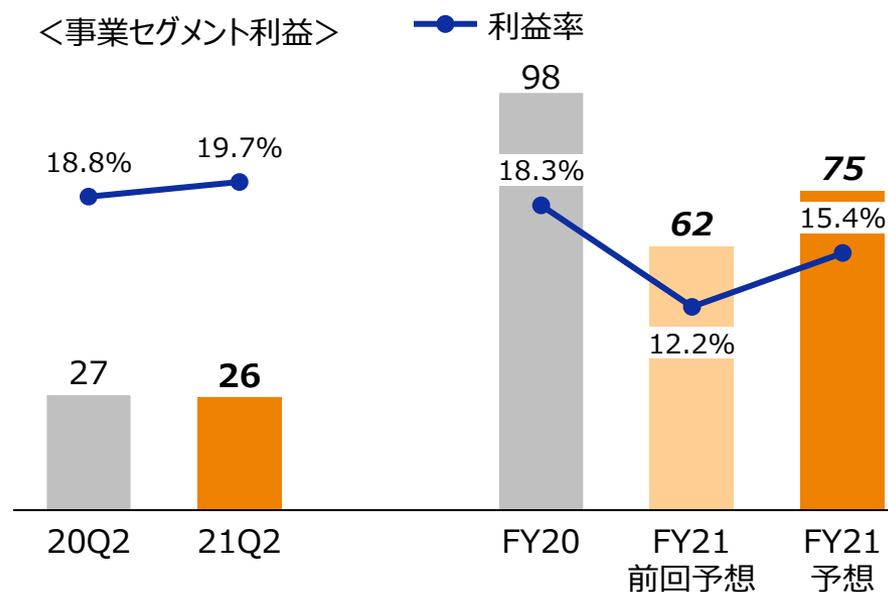
事業セグメント利益	27	26	-2.3%	-
営業利益	26	28	5.9%	-

事業セグメント利益	98	62	75	-23.5%	-
営業利益	96	64	76	-21.2%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



単位：億円

	20Q2	21Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	189	271	43.4%	38.3%
工業用ミシ	64	80	25.3%	18.4%
産業機器	89	141	57.3%	52.5%
工業用部品	36	50	41.1%	38.6%

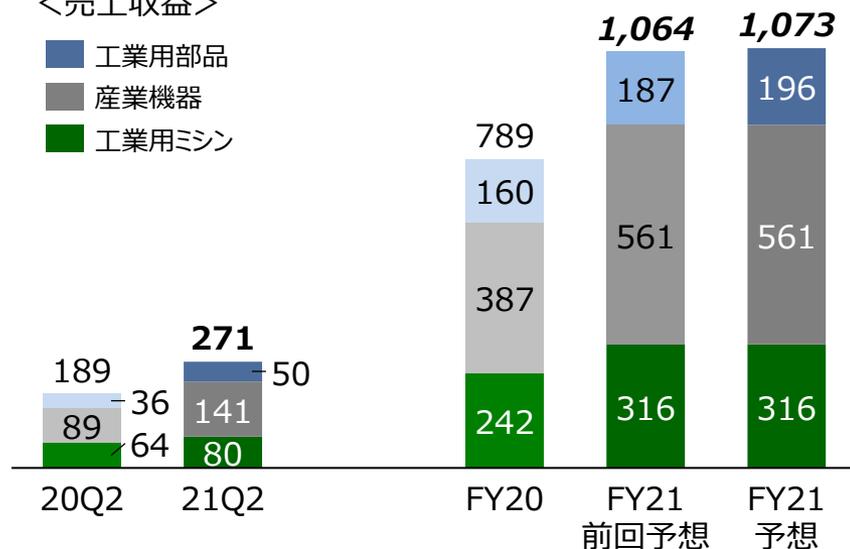
	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	789	1,064	1,073	36.0%	31.8%
工業用ミシ	242	316	316	30.8%	25.3%
産業機器	387	561	561	44.9%	40.3%
工業用部品	160	187	196	22.1%	20.9%

事業セグメント利益	8	36	329.7%	-
営業利益	9	37	320.6%	-

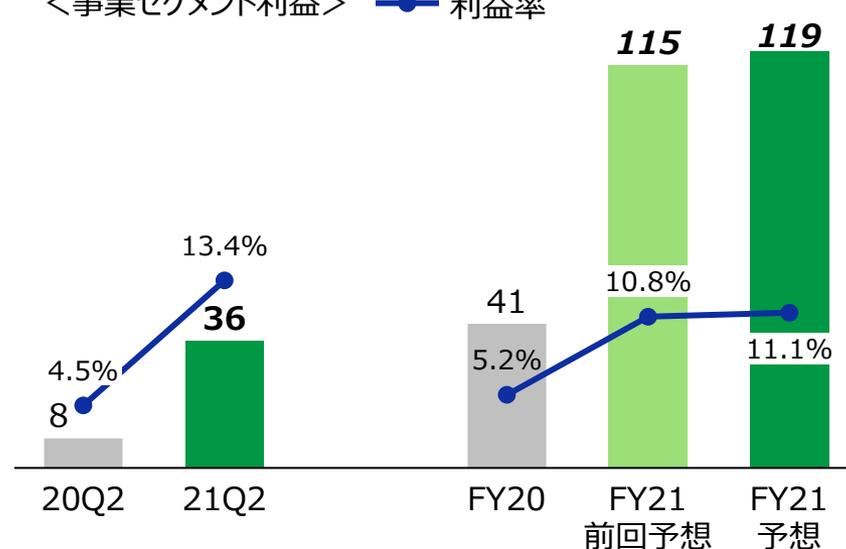
事業セグメント利益	41	115	119	188.8%	-
営業利益	33	115	118	257.2%	-

＜売上収益＞

- 工業用部品
- 産業機器
- 工業用ミシ



＜事業セグメント利益＞ ● 利益率



マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	20Q2	21Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	189	271	43.4%	38.3%
工業用マシン	64	80	25.3%	18.4%
米州	29	23	-19.8%	-23.4%
欧州	14	15	7.0%	1.8%
アジア他	18	39	116.3%	101.7%
日本	3	3	3.2%	3.2%
産業機器	89	141	57.3%	52.5%
米州	1	10	590.8%	-
欧州	3	8	171.6%	-
アジア他	73	102	40.2%	-
日本	12	21	71.9%	-
工業用部品	36	50	41.1%	38.6%
米州	5	8	50.3%	43.7%
欧州	-	-	-	-
アジア他	4	6	59.2%	45.5%
日本	27	36	36.6%	36.6%

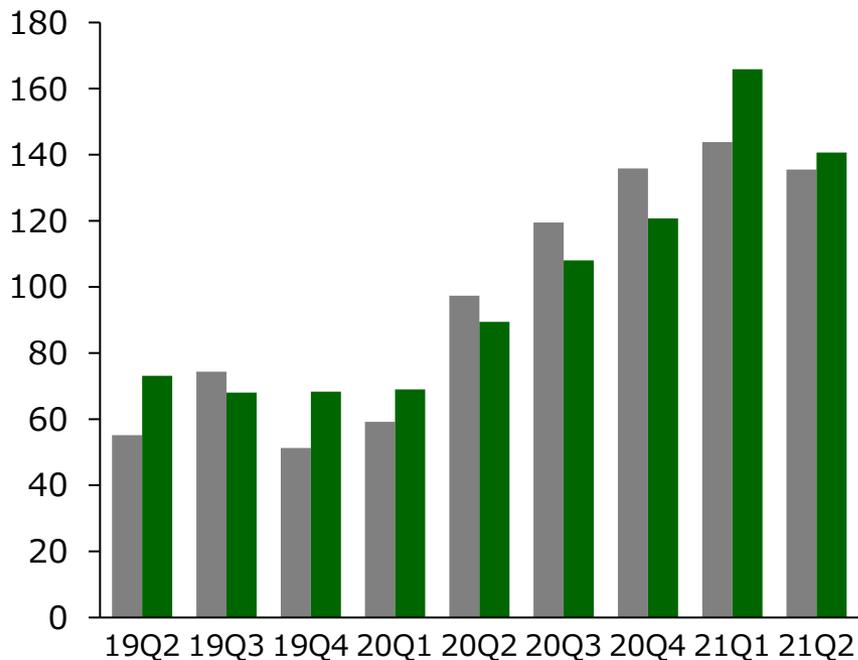
	FY20	FY21 前回予想	FY21予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
	789	1,064	1,073	36.0%	31.8%
	242	316	316	30.8%	25.3%
	87	98	94	8.5%	4.8%
	56	73	72	30.6%	26.2%
	88	130	146	66.7%	57.7%
	12	16	3	-71.2%	-71.2%
	387	561	561	44.9%	40.3%
	20	34	33	65.8%	-
	19	30	34	77.3%	-
	289	401	406	40.3%	-
	59	97	89	50.2%	-
	160	187	196	22.1%	20.9%
	21	20	27	31.0%	26.5%
	-	-	-	-	-
	20	22	23	18.0%	10.2%
	120	145	146	21.3%	21.3%

マシナリー事業（産業機器） 受注額の推移

単位：億円

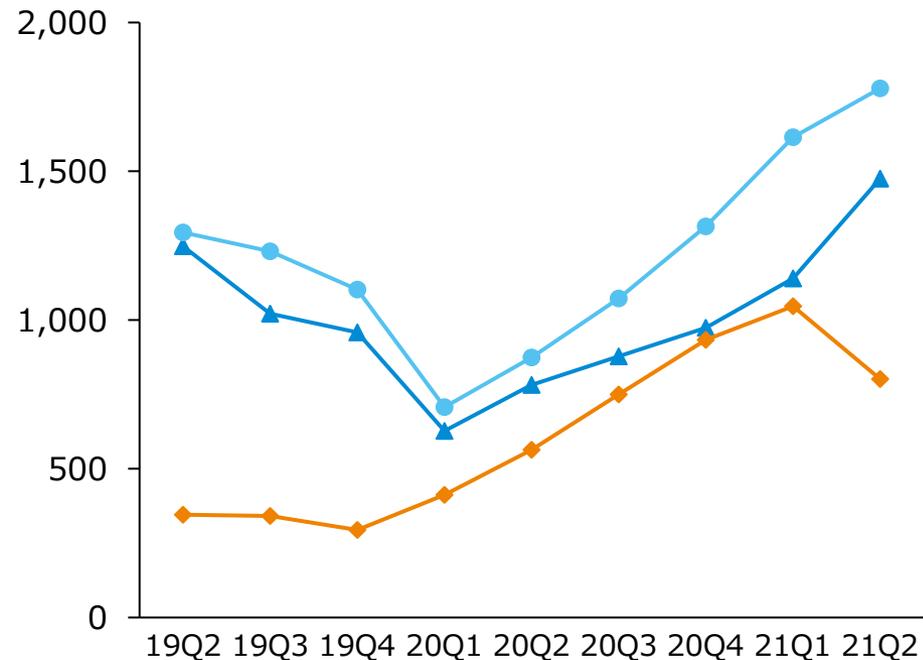
受注額・売上収益の推移

■ 受注額 ■ 売上収益



(参考) 日工会受注統計

▲ 内需 ● 中国を除く外需 ◆ 中国



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

※出所：（一社）日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

ネットワーク&コンテンツ事業

売上収益・事業セグメント利益・営業利益

単位：億円

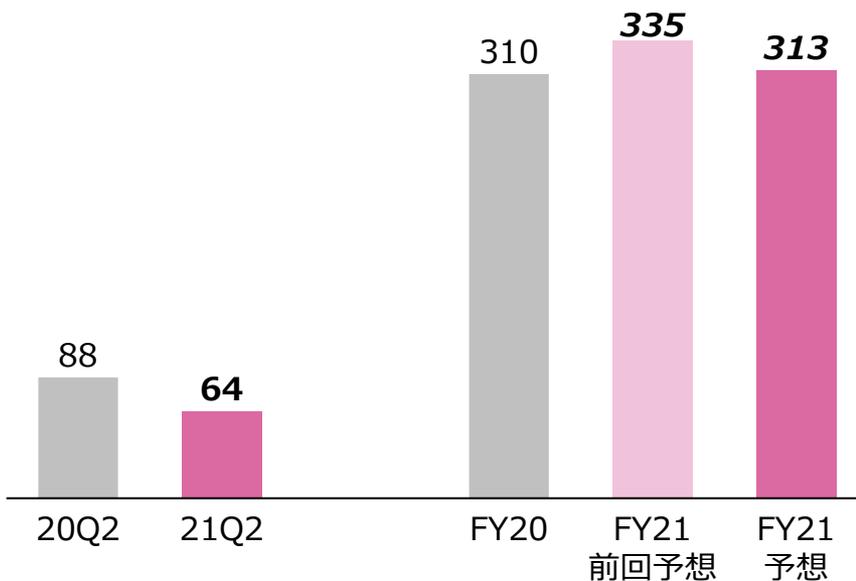
	20Q2	21Q2	増減率
売上収益	88	64	-27.7%

	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率
売上収益	310	335	313	0.9%

事業セグメント利益	-4	-12	-
営業利益	0	-5	-

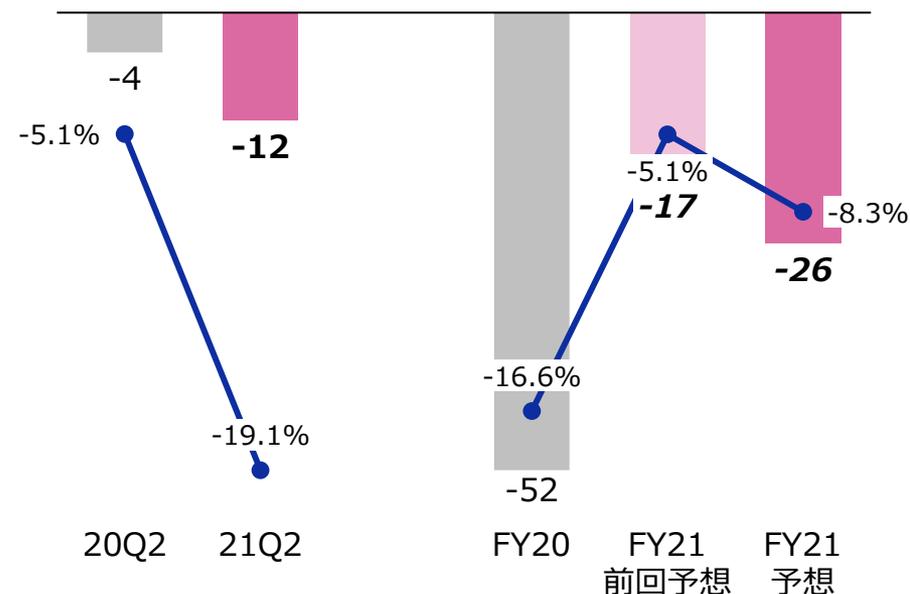
事業セグメント利益	-52	-17	-26	-
営業利益	-73	-2	-2	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>

● 利益率

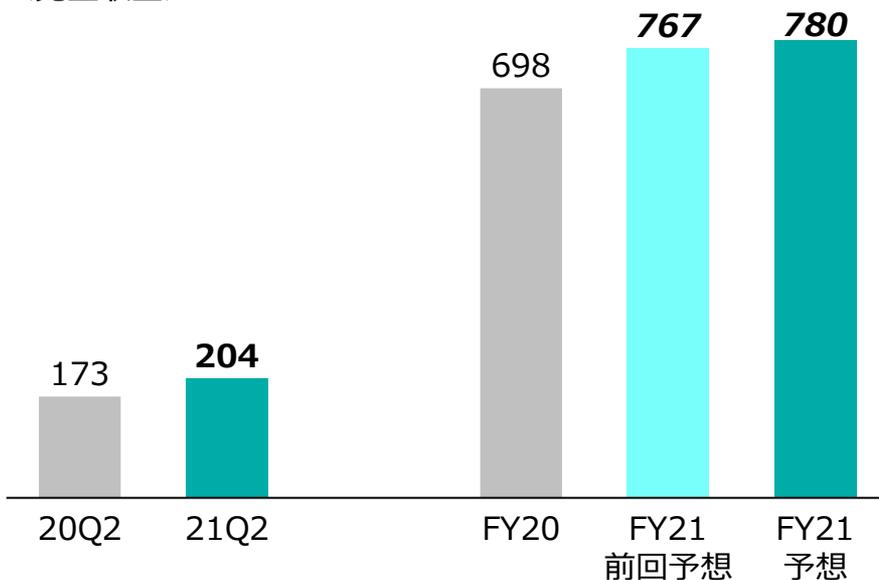


単位：億円

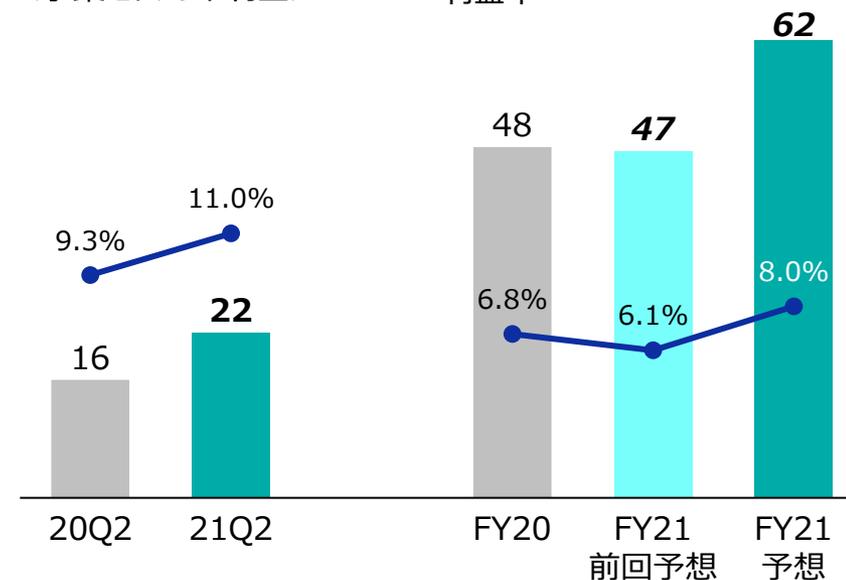
	20Q2	21Q2	増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	173	204	17.9%	9.9%
米州	45	51	13.1%	5.5%
欧州	77	91	17.5%	6.8%
アジア他	51	62	22.6%	16.2%
事業セグメント利益	16	22	39.9%	-
営業利益	12	22	80.5%	-

	FY20	FY21 前回予想	FY21 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	698	767	780	11.7%	5.0%
米州	176	190	192	8.9%	3.0%
欧州	324	358	362	11.7%	3.8%
アジア他	198	219	226	14.1%	9.3%
事業セグメント利益	48	47	62	30.4%	-
営業利益	-239	43	61	-	-

＜売上収益＞



＜事業セグメント利益＞



brother
at your side

株式会社ニッセイに対する 公開買付けの開始について

2021年11月8日

ブラザー工業株式会社

代表取締役社長 佐々木 一郎

約60.2%の株式を保有している連結子会社のニッセイに対する公開買付けを実施

- ブラザーグループ全体としての意思決定の迅速化とともに中期戦略「CS B2021」で定めた「マシナリー・FA領域の成長加速」に注力し、両社でブラザーグループの更なる企業価値の向上を追求する

◆公開買付けの概要

買付期間	2021年11月9日～12月21日 (30営業日)
買付価格	普通株式 1株につき 1,500円 (11月5日の終値に対するプレミアム +44.23%)
買付予定数	普通株式の全て (但し、当社及びニッセイが所有する株式数を除く)
買付予定数の下限	1,801,242株 (ニッセイが所有する株式を除く発行済株式の6.50%)
買付資金	自己資金
二段階買収に関する事項	公開買付けで普通株式の全てを取得できなかった場合は、成立後、①株式売渡請求又は②株式併合の方法によりスクイズアウトを実施予定

Nissei

商号 株式会社 ニッセイ
 本社所在地 愛知県安城市和泉町井ノ上1番地1
 代表者 代表取締役社長 野崎 剛寿
 (のぞき よしひさ)
 主な事業内容 減速機、歯車の製造・販売
 及び不動産賃貸事業
 上場証券取引所 東証・名証 市場第二部



減速機



歯車



高剛性減速機

ブラザーグループ新ビジョン

2021年11月8日

ブラザー工業株式会社

代表取締役社長 佐々木 一郎

※ブラザーグループ新ビジョン「At your side 2030」に関する説明資料は、
2021年10月6日（水）に以下のウェブサイトで公開したものと同一ものです。

<https://global.brother/ja/corporate/vision>

新ビジョン策定の背景

創業より社会課題解決を目指し、お客様のニーズの変化をとらえ事業を変革



設立趣意書

- 一、働きたい人に仕事をつくる
- 一、愉快的な工場をつくる
- 一、輸入産業を輸出産業にする

創業の精神



1928年
麦わら帽子製造用環縫ミシン

1932年
家庭用ミシン

1936年
工業用本縫ミシン



1961年
欧文ポータブル
タイプライター



1971年
高速ドットプリンター



1976年
電子ミシン



1980年
電子オフィス
タイプライター



1985年
CNCタッピングセンター



1987年
ファクス



1988年
ラベルライター



1992年
通信カラオケシステム



1991年
コンピューター
刺しゅう機付きミシン



1994年
モノクロレーザー
プリンター



1995年
モノクロレーザー複合機



2005年
カラーレーザー複合機



1997年
インクジェット複合機



2005年
ガーメントプリンター



2012年
ギアモーター



2015年
コーディング・マーキング機器

売上収益推移

2015年度以前は日本基準の売上高



“At your side.”の精神で事業活動を推進



あらゆる場面でお客様を第一に考える
"At your side."の精神



「ブラザーグループ グローバル憲章」
グローバルに展開するブラザーグループ
すべての活動の礎

■ 社会の変化に加えて、ブラザーを取り巻く事業環境も変化している

社会の変化

- 働き方を始め、人々の価値観が大きく変化
- サステナビリティに対する要望が高まり、企業の存在意義・社会的価値を問う動きがグローバルで拡大
- 新型コロナの影響で変化が加速

事業環境の変化

- デジタル化、リモート化
- 製造現場における自動化・ネットワーク化の加速
- 購買行動の多様化
- 災害、感染症、地政学リスク等によるサプライチェーンリスクの高まり
- マスカスタマイゼーション需要の高まり

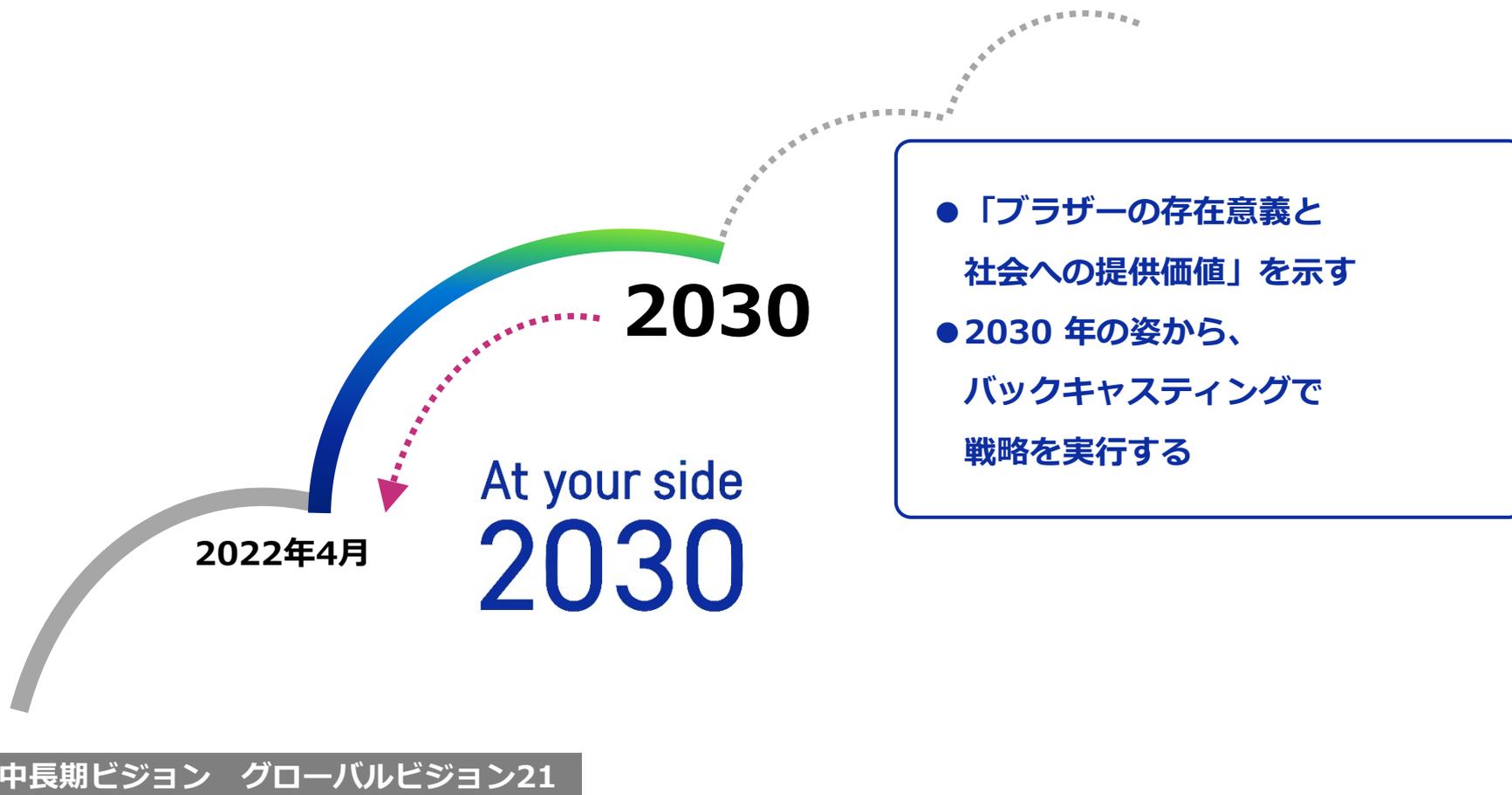
新ビジョン

ブラザーグループ新ビジョン

At your side
2030

「ブラザーの存在意義と社会への提供価値」を示し

2030年という期限を明確に区切り、バックキャストで戦略を実行していく



2030 年に向けて、お客様と社会にどのような価値を提供するのか
「あり続けたい姿」を起点に「価値の提供方法」「注力領域」を示す



At your side 2030

あり続けたい姿

世界中の“あなた”の生産性と創造性をすぐそばで支え、
社会の発展と地球の未来に貢献する

価値の提供方法

多様な独自技術とグローバルネットワークを強みに、
お客様の成功へのボトルネックを見つけ解消する

注力領域

- ・産業用領域のかけがえのないパートナーになる
- ・プリンティングのオンリーワンを極め、次を切り拓く

あり続けたい姿

**世界中の“あなた”の生産性と創造性をすぐそばで支え、
社会の発展と地球の未来に貢献する**

- 自らの生産性や創造性を最大限に発揮して、価値創出を行いたい、
進歩し続けたいと願うすべての“あなた”のその思いを叶えるために
ブラザーは存在します。
- そして“あなた”とともに、人と社会の持続的な発展を実現し
地球環境への責任を果たすことで、よりよい未来に貢献します。

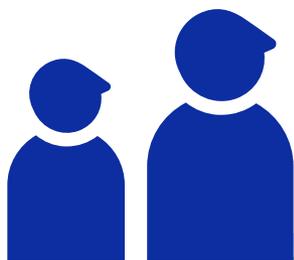
時代が移り変わっても、お客様をはじめとした“あなた”が本来持っている価値創出や
進歩の力をすぐそばで支えられる存在として、よりよい未来に貢献する

生産性の向上

創造性の発揮

地球の未来

社会の発展



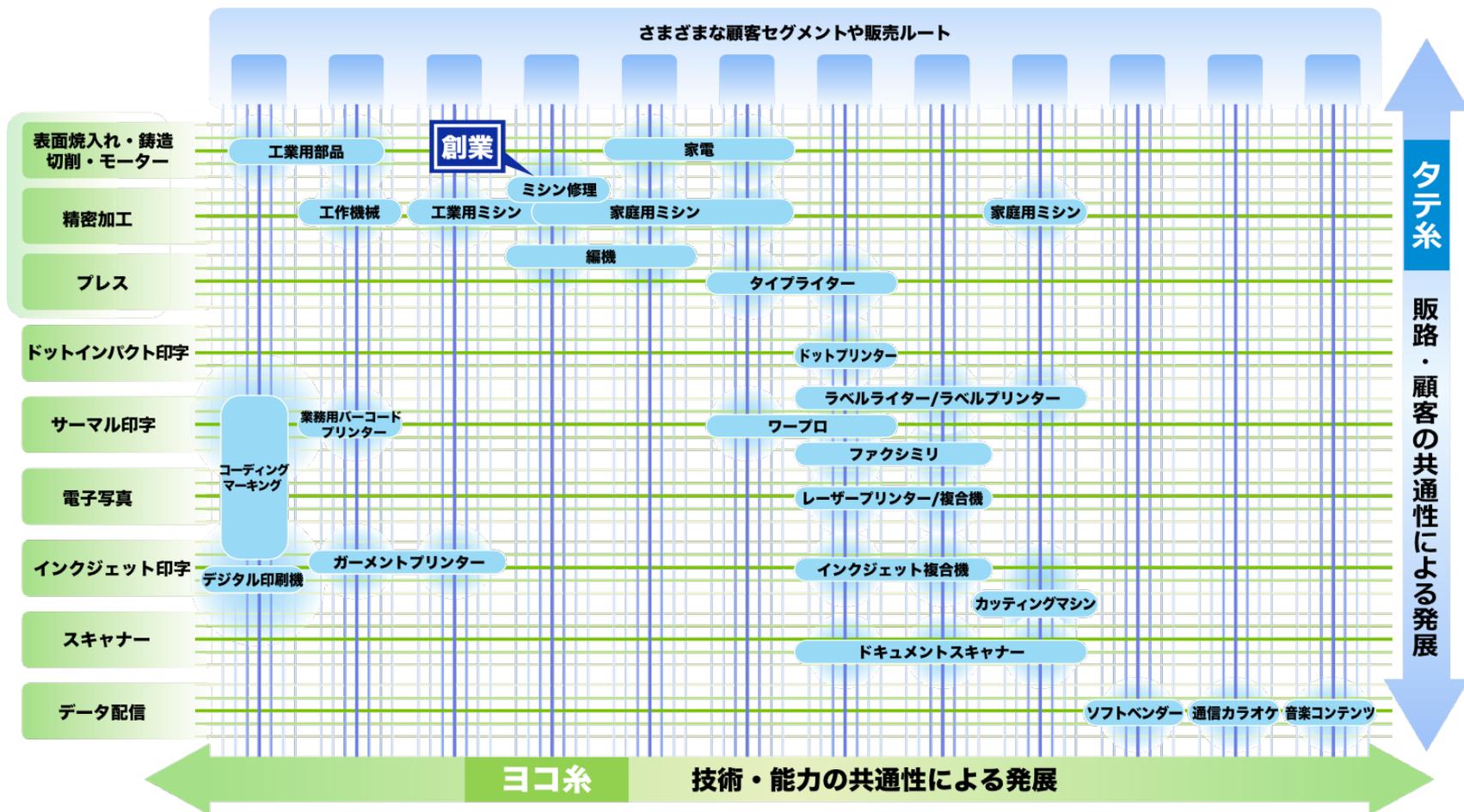
ブラザーグループ グローバル憲章 すべての活動の礎

価値の提供方法

**多様な独自技術とグローバルネットワークを強みに、
お客様の成功へのボトルネックを見つけ解消する**

- **グローバル複合事業企業ならではの強みを、外からの学びによりアップデートし続け、事業を越えて最大限に活用します。**
- **お客様のバリューチェーンに向き合い、真に解消すべき制約や課題を見つけ、モノづくりにとどまらない価値づくりを通じて、お客様のありたい姿を実現します。**

創業以来、技術または販路・顧客の連続性を活かし、新たな事業を生み出してきた。
この連続性をタテ糸・ヨコ糸とし、織りなされた広がりがブラザー独自の強み



40以上の国と地域に広がる生産・販売・サービス・開発拠点のネットワークを活かし、外部からの学びを得ながら、グローバルチームブラザーで優れた価値を迅速に提供する



外部からの学び：パートナーとの連携

取引先

産官学連携

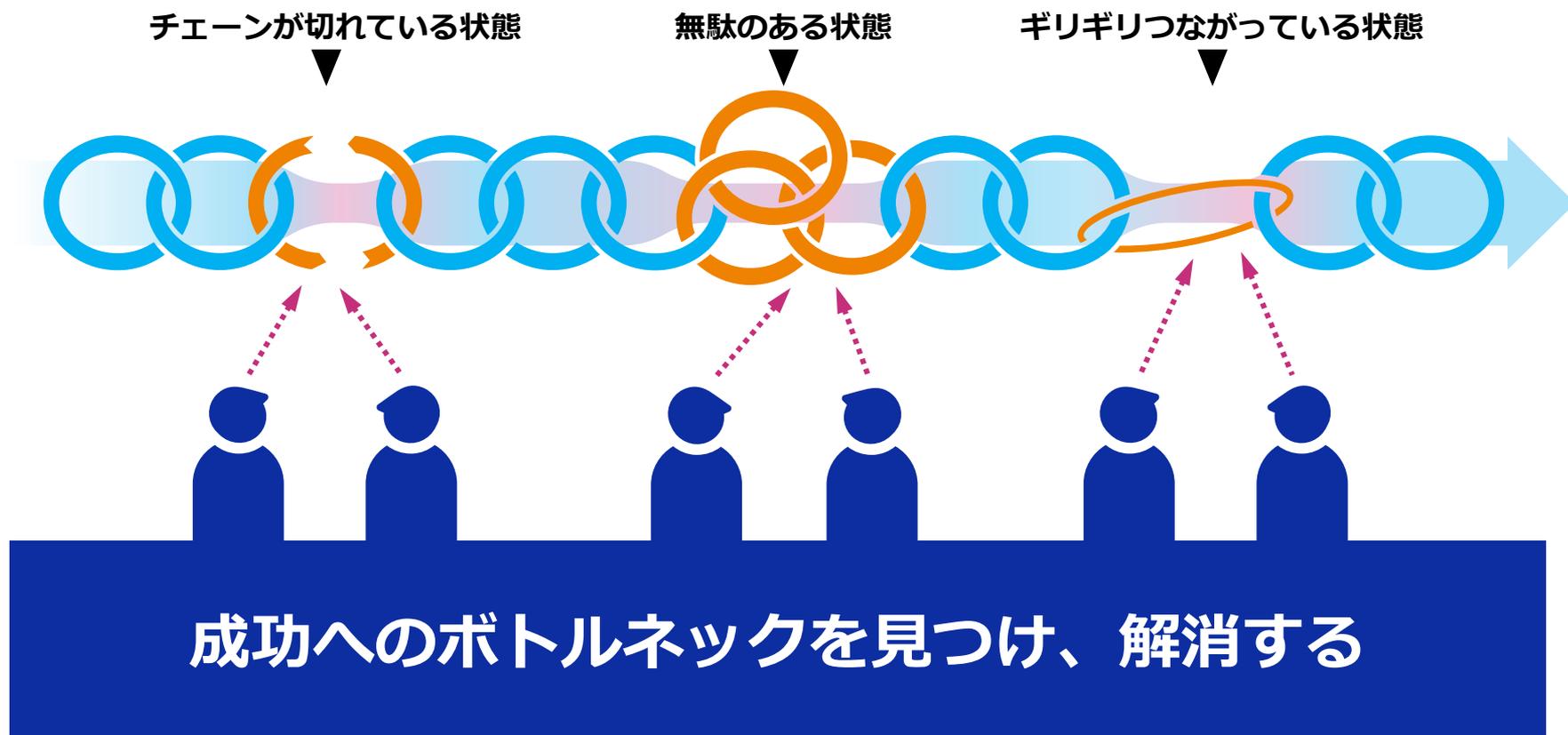
大学・公的研究機関

オープンイノベーション ……

価値の提供方法 お客様のバリューチェーンに向き合う

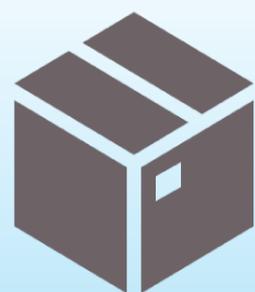
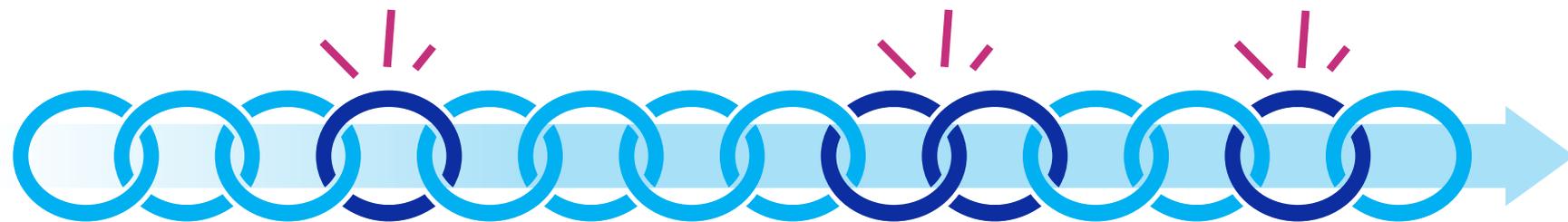
お客様のバリューチェーンに向き合い、その流れを妨げるボトルネックを見つける

ボトルネックにより流れが妨げられているお客様のバリューチェーン



価値の提供方法 モノづくりにとどまらない価値づくり

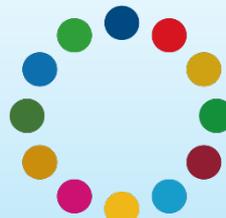
ブラザーにとって“モノづくり”は原点であり、その強みを活用しながら、デジタル技術の活用などの“コト”を強化し、お客様への提供価値の幅を広げ、ボトルネックを解消する



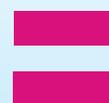
モノ



デジタル技術など



コト



注力領域

- ・ **産業用領域のかけがえのないパートナーになる**

産業用途でブラザーの強みが活きる領域において、生産性の向上に加え働く人々や地球環境の課題を解決することで、ベストパートナーとしての信頼を確かなものにします。

- ・ **プリンティングのオンリーワンを極め、次を切り拓く**

オフィスワークやプリンティングの意味合いが大きく変わる中であっても、働く人々の期待に応え続けるとともに、これまでの事業の枠を超えて新たな柱を築きます。

・ 産業用領域のかけがえのないパートナーになる

産業用途でブラザーの強みが活きる領域において、生産性の向上に加え働く人々や地球環境の課題を解決することで、ベストパートナーとしての信頼を確かなものにします。

領域

顧客課題と社会課題

マシナリー・FA*

産業用印刷

生産性向上
省人化

快適な労働環境
CO₂排出削減



ベストパートナー

*ファクトリー・オートメーション

・プリンティングのオンリーワンを極め、次を切り拓く

オフィスワークやプリンティングの意味合いが大きく変わる中であっても、働く人々の期待に応え続けるとともに、これまでの事業の枠を超えて新たな柱を築きます。

領域

事業環境の変化と社会課題

レーザー・
インクジェット
プリンター/MFC

ラベルプリンター
モバイルプリンター

周辺サービス・
ソリューション

紙離れ
在宅・リモート
新商流
デジタル化

CO₂排出削減
資源循環



次を切り拓く

オンリーワン・勝ち残り

ブラザーグループは、110年以上にわたり
“At your side.”の精神でお客様と向き合い、自らを変革してきました。

ブラザーはこれからも、社会の発展と地球の未来に貢献し、
より多くのお客様の幸せに貢献できるように、変化し続けていきます。



ブラザーの環境への取り組み

環境に配慮した製品および企業活動を実施

環境配慮製品の創出



- ・ 各国環境ラベル*1の積極的な取得
- ・ 製品の省電力化
- ・ トナーカートリッジの回収・リサイクル

*1ブルーエンジェル（ドイツ）、ノルディックスワン（北欧5カ国）、エコマーク（日本）など

世界の環境法規制と社会動向への対応



法規制に関するお取引先への説明会

- ・ ISO14001*2に基づいた環境活動の推進
- ・ 「REACH規制*3」「RoHS指令*4」などの順守
- ・ 化学物質管理体制の確立

*2製品の製造やサービスの提供など、自社の活動による環境への負荷を最小限にするように定めた国際規格

*3化学物質の総合的な登録、評価、認可、制限に関するEUの制度

*4電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関するEUの法律

環境に関する社会貢献活動、コミュニケーションを推進

世界各地での環境社会貢献活動の実施

ブラザーグループの取り組み
中国(内モンゴル)



中国・砂漠化防止の緑化活動

ブラザーグループの取り組み
タイ



タイ・マングローブ林再生活動

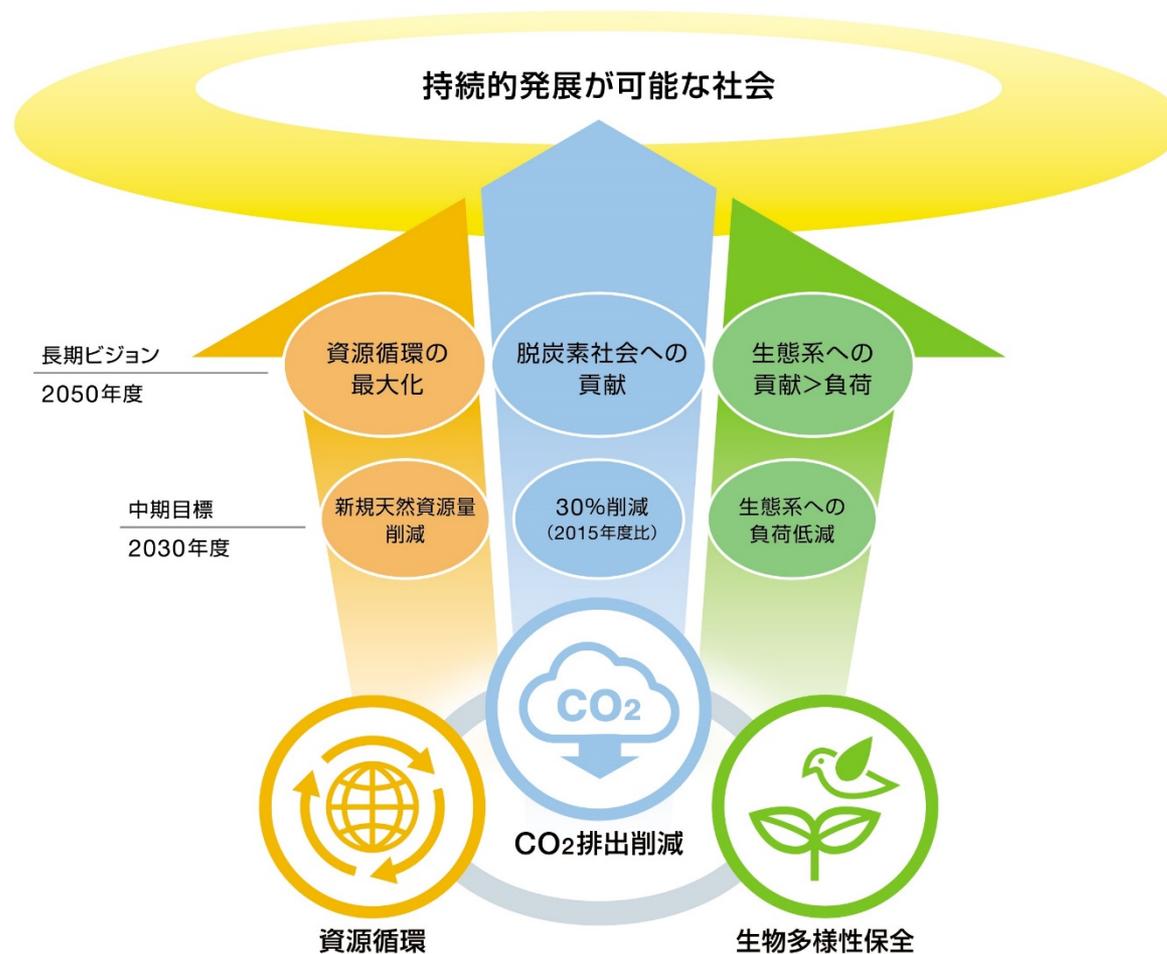
生物多様性保全を意識した活動をグローバルに展開

環境コミュニケーションの推進



- ・ 自社Webサイト“SDGs STORY”を通じた社外への情報発信
- ・ 従業員に対する環境教育の実施

2018年、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、
CO₂排出削減、資源循環、生物多様性保全の3つの項目で2050年度までの目標を提示



2030年度のCO₂排出削減目標は前倒しで達成

SBT認定を取得



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

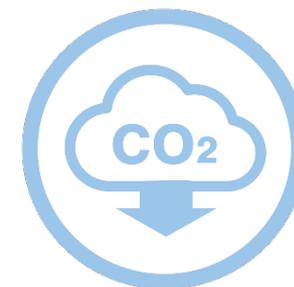
2018年にCO₂排出削減目標が、
Science Based Targets
イニシアチブの認定を取得

TCFDの提言に賛同



2020年に気候関連財務情報開示
タスクフォース（TCFD）の提言
への賛同を表明し、TCFDの提言
に基づく情報開示を実施

CO₂排出削減目標達成



スコープ1、2において、2030
年度目標で掲げた2015年度比
30%削減を前倒しで達成

環境ビジョン2050の改定

2050年にあらゆる事業活動の カーボンニュートラルを目指す

CO₂排出削減目標：2030年にスコープ1、2で2015年度比65%削減、
2050年にあらゆる事業活動のカーボンニュートラルとバリューチェーン全体の
CO₂排出最小化を目指す

	2030年目標	2050年ビジョン
現行 CO ₂ 削減目標	[スコープ1*1,2*2] 30%削減 [スコープ3*3(カテゴリー 1,11,12*4)] 30%削減	あらゆる事業活動でバリューチェーン全体のCO ₂ 排出削減に前向きに取り組み、世界が目指す脱炭素社会の形成に貢献している。
改定後 CO ₂ 削減目標	[スコープ1*1,2*2] 65%削減 [スコープ3*3(カテゴリー 1,11,12*4)] 30%削減	あらゆる事業活動のカーボンニュートラル*5とバリューチェーン全体のCO₂排出最小化を目指すし、脱炭素社会の形成に貢献している。

- *1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- *2：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- *3：スコープ1、スコープ2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他者の排出）
- *4：製品の部材調達時、製品使用時、製品廃棄時のCO₂排出量が削減対象
- *5：プラザグループから排出するCO₂を全体としてゼロにする

世界各地のブラザーグループ拠点でカーボンニュートラル達成に向けた活動を推進



- ・ 省エネ活動の推進
- ・ 太陽光パネルの設置を中心とした創エネ活動
- ・ CO₂フリー電力*の購入 など

本社地区では、2026年度中の
カーボンニュートラルを目指す



*発電する際にCO₂を出さない電力のこと

カーボンニュートラル達成を会社の優先課題としてさまざまな活動を強力に推進

サステナビリティ分野への
投資を行うファンドに出資



サステナビリティ分野やDXなどのデジタル分野を投資分野に含むベンチャーファンド「WiL Ventures III, L.P.」に出資

水素利活用に関する
取り組みへの貢献



ゼロカーボンシティを目指す福島県浪江町において、水素活用社会の実現に向け、水素輸送システムの実証実験を実施

気候変動に対応する
部門を新設

気候変動対応戦略部

10月1日に気候変動対応をグローバルに戦略的に推進する専任部門として「気候変動対応戦略部」を新設

brother
at your side